

# 気仙沼市立階上中学校の防災教育

## 1 概要

本校では平成17年度、総合的な学習の時間のテーマを「防災」としてカリキュラムに位置づけ、災害発生時の対応力を高めることを目的とし、1年目は「自助」、2年目は「公助」、3年目は「共助」をテーマとして3年1サイクルで行っていた。しかし、防災学習が「体験して終わり」になりがちであったことから、それまで行ってきた体験活動を必要最低限のものに改め、平成29年度から探究活動を取り入れた。

震災から10年以上経過し、地球温暖化等の影響による様々な自然災害が世界中で頻発しているなかで、「地震や津波への防災」からさらに視野を広げさせるため、令和3年度からは総合的な学習の時間の計画にSDGsの目標4（質の高い教育をみんなに）、11（住み続けられるまちづくりを）、14（海の豊かさを守ろう）、15（陸の豊かさを守ろう）、17（パートナーシップで目標を達成しよう）を取り入れた。また、平成29年度から続いていたグループでの探究を個人に改め、上記のSDGsの目標と関連付けた「防災×〇〇」、「海×〇〇」、「地域×〇〇」というテーマを生徒一人一人に設定させ、探究的な学びが深まるよう工夫した。

以降、体験学習と個人探究学習を織り交ぜながら、「自他の命を守り、地域に貢献できる人材の育成」を【ESD】目指す姿として推進を図っている。

## 2 令和8年度の実践

- (1) テーマ：防災と海と地域 ～知る・向き合う・自分たちにできること～
- (2) 目標：体験学習及び探究学習を通して、地域の人、もの、ことについて自ら学びよく考え、課題解決に主体的に取り組む態度を育てる。

### (3) 身に付けたい資質・能力

- ①地域の人、もの、ことに関わる学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。【知識・技能】
- ②地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を元に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。【思考・判断・表現】
- ③地域の人、もの、ことについて探究学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。【主体的な学習態度】

### (4) 総合的な学習の時間の学習内容

#### ①個人探究

##### <課題>

- 1 学年探究課題 「地域再発見 ～地域の魅力～」
- 2 学年探究課題 「地域課題 ～地域の課題と向き合う～」
- 3 学年探究課題 「地域貢献・参画 ～視野を広げて考える～」

##### <学習内容>

ガイダンス、講話（テーマ：地球温暖化、海洋、被災体験、水産資源、リサイクル等）、課題設定（海洋教育副読本の活用）、課題追究、考察・まとめ・中間発表、探究学習発表会（ポスターセッション）

#### ②体験学習

- 1 学年 総合防災訓練、震災遺構等訪問（陸前高田市）

2 学年 総合防災訓練、職場体験学習

3 学年 総合防災訓練、修学旅行自主研修（関東方面）

#### （5）地域との連携

##### ①階上地区防災教育推進協議委員会

学区内にある保育所・小学校・高校などの教育施設だけでなく、警察、消防、市役所などの行政機関、JA、JFなどの民間組織、自治会、婦人防火クラブ、婦人会などの自治組織などの代表で構成される「階上地区防災教育推進委員会」の協力と連携を図りながら実践している。

##### ②小中連携（アクサ・ユネスコ減災教育プログラム教員研修会への協力）

アクサ・ユネスコ減災教育プログラム教員研修会への協力を階上小学校と連携しながら研修会へ協力している。

##### ③語り部活動

学校区にある気仙沼市東日本震災遺構・伝承館の協力をいただき、希望する生徒が語り部活動に取り組んでいる。